



# 国府小だより

第3号

令和2年6月9日



## いつもの日常が戻ってきました。

6月1日、全校の子どもたちが学校に登校してきました。46日ぶりのことでした。朝の時間に、校長室から子どもたちに向けて、テレビ会議を使って話をしました。

新学期のスタートとして気持ちのリセットをしましょうという事と、命を守るための行動を全員で取組んでいく事を伝えました。子どもたちにとって、友達との距離を取ることは大変難しいことです。常に意識していく事もなかなかできることではありません。しかし、並んで順番を待つときや、しゃべりにいくときに「一歩後ろに下がってみる」という「新しい当たり前」としてソーシャルディスタンスを感覚で身に付けていってほしいと思っています。



対話的な活動をしたり、一緒に活動したりするときには、フェイスシールドを活用します。英語の授業では、友達と会話することも多いので子どもたちも活用します。ALTの先生も口元がよくわかるフェイスシールドを活用しています。



## 給食も始まりました



6月2日より、簡易給食として給食が始まりました。5日までは、担任や職員で配膳をしています。8日からは、児童の当番も動きだします。手洗い消毒をした後、エプロン、手袋、フェイスシールドを着用して配膳をします。「いただきます」の後は、それぞれが前を向いて、おしゃべりをせずに食べます。

2日は1年生にとって、初めての給食でした。とってもおいしそうに食べていました。

